

◎主な記載事項

①南海トラフ巨大地震(M9クラス)が発生した場合に**想定される深刻な事態**（抜粋）

- ・中部ブロック全体で、津波による死者は最大で約13万3,000人、救助を要する人は、最大で約1万2,000人
- ・地震動又はこれに伴う施設等の被害により、運行中の列車は全て緊急停車。沿岸部で停車した列車は、津波被害の危険にさらされる。JR東海道本線（70万人/日）等の乗客に影響。
- ・伊豆半島、東紀州地域では、沿岸部、山間部道路の不通により、多くの集落が孤立。伊勢湾では、海上輸送機能が寸断。
- ・静岡県由比地区では、大規模地すべりにより、日本の大動脈である東名高速道路、R1号、JR東海道本線が長期間寸断。
- ・我が国最大のゼロメートル地帯である濃尾平野が広範囲かつ長期間にわたり浸水し、社会経済活動に大きなダメージ。

②取り組むべき対策

(1)南海トラフ巨大地震発生時における**応急活動計画**

巨大地震発生直後から概ね7日～10日目までの間を中心に、中部ブロック地方支分部局等として緊急的に実施すべき主要な応急活動並びに当該活動を円滑に進めるためにあらかじめ平時から準備しておくべき事項等を記載。

(ex. への緊急調査計画策定、TEC-FORCE活動計画策定、電子防災情報システム構築、中部版くしの歯作戦、くまで作戦、濃尾平野の排水計画等)

(2)南海トラフ巨大地震の発生に備え**戦略的に推進する対策**

巨大地震による揺れ・津波・土砂災害・火災等による甚大な人的・物的被害を軽減するため、中部ブロック地方支分部局等として取り組むべき予防的な対策を、中長期的な視点を踏まえつつ記載。

(ex. 公共施設（橋梁、堤防等）の耐震化、密集市街地・コンビナート等臨海部などの火災対策、由比地区等の土砂災害対策、津波避難対策（津波避難施設の整備、緊急地震速報・津波警報等の迅速化・高精度化）)